

模型飛行機作りを体験

由利工高生ら、愛好者が指導

由利本荘市の大内模型飛行

機の会（高橋光一会長）が由

利工業高校の生徒にゴム動力

を受けながら、プラスチック

の模型飛行機の作り方を教え

た。主翼などを組み立て、全長

47センチ、翼長50センチの模型飛行機

を製作した。約3時間かけて

年生4人と教員1人が参加。仕上げ、体育館でテスト飛行。

し、模型飛行機への理解を深



行時間などを確かめた。10日

に行われた。

大内模型飛行機の会は30年

ほど前に設立。会員は市内外

の約15人で、月に1回それぞ

れの力作を飛ばす技術交流を

したり、親子連れを対象に模

型飛行機作りの教室を開催し

たりしている。

同校には「航空機産業に関

する科目」があり、1年生で

は航空機の基礎知識を幅広く

講義している。

模型飛行機完成後は、体育

館で出来栄を確かめた。

学習。航空機コースを選択し

た2、3年生は実習も交えて

航空機部品の素材や製造工程

について学んでいる。

地域の子もたちに模型飛行

機の魅力を伝える指導者を

育成しようと、同会が交流会

を開いた。

後藤拓翔さん(18)は「ちょ

っとした調整の違いで飛び方

が全然違って面白いと思っ

た。試行錯誤して、うまく飛

ばない要因を改善できた」と

話した。

高橋会長(71)は「模型飛行

機は今の子どもたちにとって

身近ではないかもしれない

が、今日学んだことを後輩た

ちに広めてほしいと語った。

(二木佳奈)